

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18
労働会館第2ビル
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
e-mail airouren@lilac.ocn.ne.jp
発行人 見崎徳弘

第78号 1999年10月10日

主な日程 11月

- 10日 暮らしと雇用・平和・民主主義を守れ！国民要求実現11.10大集会（18：30～東京・明治公園）
- 13日 愛労連結成10周年記念行事
- 17日 11.17愛知総行動

JMUIU NCR支部

69人が転籍リストラを拒否！！

名古屋では3人が隔離部屋に

大企業を中心に中高年のリストラが横行しています。日本NCRでは別会社への転籍を拒否した従業員を、「隔離部屋」に押し込め、仕事を取り上げる攻撃がかけられています。会社の身勝手なリストラには従えないと、JMUIU・NCR支部の仲間が立ち上がっています。「隔離部屋」にいる名古屋分会の柘植照男さんにお話を聞きました。



名古屋営業所の隔離部屋に移って3ヶ月。仕事のないままここで1日過ごす。左から友石氏、柘植氏、荒川氏

日本NCRはアメリカを本社とする外資企業で、コンピュータやATM（現金自動支払機）、レジスターなどの販売・サービスをこなしている会社です。会社は六月二十五日、会員の保守・サービス部門の別会社への「転籍」を拒否している全国で六九名の組合員に、10ヶ所の「隔離部屋」への配転命令を出しました。

「儲かっているのにリストラ」

いま、大企業では会社の不採算部門を丸ごと仕事も人もアウトソーシング業務の委託化し、従業員を向・転籍させる首切り・リストラが横行しています。

NCRは、内部留保を八〇〇億円ため込んでいるにも関わらず、人件費削減でさらに利益をため込もうとしています。

会社は四五歳以上にすべし「転籍」を強要。しかし、転籍をすれば退職金を含めて、二〇〇万から三〇〇万も減収。住宅ローンや子どもの教育費など、出費がかさむ年代の賃金ダウンは、生活設計が大きく狂ってしまいます。

働く誇りを奪う隔離部屋 東海地区では四日市一

たたかひの

中で組合加入

しかし、組合員は悲観的ではありません。長年会社のために骨身を削って働いてきたのに、企業の身勝手

愛労連 雇用・失業問題で申し入れ

10月25日に県交渉の予定

大企業のリストラ・人減らし、中小企業の倒産など深刻な雇用情勢が続く中、愛労連は県知事に雇用・失業に関する要望書を提出しました。内容は、大企業のリストラ計画は自粛するよう要請すること、雇用拡大のため

労働時間の短縮サービス残業の根絶など企業に具体的な対策の計画を求めること。介護・医療の充実に向けホームヘルパーや施設職員などの公的職場での雇用創出をはかることなど、十二項目に及ぶもの。十月二十五日に県交渉をおこないます。

介護保障市民の会を結成

豊橋市職労などが市民と共同で

十月三日、豊橋市職員会館で、「介護保障の充実をめざす豊橋市民の会」が結成されました。この会は豊橋市職労や東三河労連などが準備を進めてきたもの。準備会では、これまで二

回の地域懇談会とシンポジウムを開いて市民に参加を呼びかけてきました。地域懇談会では、会場の周辺地域にヒラをまいたり、地域の老人クラブや民生委員、地区総代などの公務員に案内を送りました。参加者からは、「利用料や保険料が払えない人から苦情相談が寄せられそうだが、市に聞いてもらわらない」、「今、ヘルパーさんに来てもらっているが、引

は許さない」と転籍を強要された従業員が、四二名も組合に加入してたたかっています。会社は、経費節減のために別会社を作ったのに、結局辞めない我々に賃金を払い続けている。私たちのたたかいは会社を追い込んでいく」と柘植さん。いま、「配転命令は違法」と東京地裁へ提訴して、新たなたたかいが始まっています。

明るく言い放つ柘植さんに働くものの不屈の魂がみえました。

はね返そう、リストラ・賃下げ攻撃

雇用・失業状況の悪化で政府は二千億円の「緊急雇用交付金」の配分（愛知には九三億円）を決めました。一方で、「国際競争力強化」を理由に国会で「産業再生法」を通過させ、大企業のいっそうのリストラ支援に乗り出しています。また秋の臨時国会では中小企業への保護政策をやめ、市場競争に強い企業支援のみとする「中小企業基本法」の抜本改悪ももくろんでいます。このままでは雇用と労働条件のますますの悪化は避けられません。

問題は民間だけでなく、公務員も八月の人事（史上初のマイナス動向）や自治体財政の悪化で賃下げや定数削減の攻撃にさらされ、厳しい確定闘争を闘っています。これが補助金力

大企業の横暴と自公の悪政許すな！

11.17総行動に全組合員の参加を

つとなど国民のくらし・福祉・教育切捨ての地ならしとされているのも重大です。

●介護・年金・消費税…許すな、国民いじめ
十月から認定作業が始まる



昨年の11・6総行動では小淵内閣へ「消費税なくせ」など多数のFAXが送られた。

三つを「地域」で企画し、「怒りを結集し、世論を変える総行動」としましょう。

十月三日、豊橋市職員会館で、「介護保障の充実をめざす豊橋市民の会」が結成されました。この会は豊橋市職労や東三河労連などが準備を進めてきたもの。準備会では、これまで二

会では、今後、市長に要請・懇談をしながら、十二月の予算策定期にあわせて、市民の四分の一に当たる一〇万の署名を取り組むなど、市民ともに介護保障の充実に向け、大きな運動にしていくことを申し合わせました。

介護保障でサービスはこうなります

みんなの声で介護保障の充実したまち(豊橋)を

市役所は、よりよい介護保障をめざし署名を行います。

「住友電設・鈴木龍雄さん」の過労死裁判は9月13日、名古屋地裁で「喘息死を過労死」と認めた画期的な判決がだされました。提訴から五年。一宮地区労連は「支援する会」を結成し、全面的にバックアップしてきました。

一宮地区労連 支援が実った



一宮地区労連は、五年前に、労働組合や民主団体・個人も含めて「鈴木龍雄さんの『過労死裁判』を支援する会」を結成し、たたかってきました。

裁判傍聴は毎回欠かさず、地裁や労働保険審査会への署名・八ガキなど、全国の労働組合や民主団体、「過労死家族の会」の協力をえて、二万の署名、千

原告・鈴木美保さんの話
夫の死が「過労死ではなく私病だ」とどついても納得できなくて過労死一〇番に相談しました。はじめは弁護士との二人三脚だったのが、一宮労連の方々と

「支援する会」を結成してから、運動の質が変わりました。行動や訴えなど、経験したことがないことが重なり、不安に思うこともありませんでした。でもその中で、信頼できる仲間、支えても

の団体署名など、この間運動を大きく広げてきました。住友電設の本社がある大阪へも、大阪労連の力を借りて要請に行きました。今年には結審を控え、三の丸で毎月一回の宣伝行動もこなってきました。

一宮地区労連の副議長で「支援する会」の代表・八橋昭郎さんは、「全国の皆さんの支援に感謝する。経験のない裁判闘争で手探りの運動だったが、こんな小

「支援する会」を結成してから、運動の質が変わりました。行動や訴えなど、経験したことがないことが重なり、不安に思うこともありませんでした。でもその中で、信頼できる仲間、支えても

鈴木龍雄さん過労死裁判勝訴



使用者による不当な首切りや差別・団交拒否などから労働者を守り、団結権をはじめとする働く者の権利救済に大きな役割を果たす愛知地労委の第三五期労働者委員の改選が十二月一日に迫りました。

知事は地裁判決を受けとめよ！

一九八九年の労働戦線の再編に伴い、それまで労働三団体から系統別に選任さ

「健康大学」を開いてきました。団体生命保険では、労働者が死んでも搾り取る企業の非道さに怒りが込み上げ、こんなことは許すまいと職場での点検運動も広げられました。

二候補の任命を勝ち取るため、団体二千、個人一〇万の署名を取り組んでいます。職場からの推薦決議とあわせて、全力で取り組みましよう。

一〇万署名を集め 県に迫ろう！

二候補の任命を勝ち取るため、団体二千、個人一〇万の署名を取り組んでいます。職場からの推薦決議とあわせて、全力で取り組みましよう。

12月1日 改選

35期労働者委員

候補

必ず



裁判所前での集会

私たちが推薦する 第35期 労働者委員



阿部 精六
愛労連議長



田中 洋行
全港湾名古屋支部書記長

全国一般・石川合板労組の副委員長、委員長を歴任。愛知統一労組懇の専従として愛労連の結成に力を尽くし、結成後は事務局長。二年前から議長。骨身を惜しまない献身的活動で、多くの争議を解決してきた人。

建公労が結成大会

建設一般運輸一般全動労の三組合が統合

建設一般愛知県本部と全動労愛知支部そして運輸一般愛知地本は、四年間の準備期間を経て、新しい労働組合「全日本建設交通一般労働組合愛知県本部」(略称：建交労愛知県本部)を結成しました。

結成大会は、十月三日(日)午後一時より、愛知県労働会館にて開催。一三



「たたいはさらに厳しくなるが、取捨のわけにはいかない。高裁で必ず決着をつける」

地区労連と「守る会」では、さらにたたかいを広げる決意をしています。

らえる仲間ができて本当に良かったと思います。

私の人生を変えてしまった会社に非を認めさせるよう、高裁に向けてもう一がんばります。

愛労連結成10周年 記念行事

記念行事

愛労連は今年の十一月十七日で結成から十年目を迎えます。十周年記念事業として①十年史の発行、②ベトナム国際交流と沖縄平和ツアー、③コンサート、レセプションをおこないます。

11月13日(土)14時開演
名古屋・中区役所ホール

太田真希コンサートへ



愛労連は今年の十一月十七日で結成から十年目を迎えます。十周年記念事業として①十年史の発行、②ベトナム国際交流と沖縄平和ツアー、③コンサート、レセプションをおこないます。

フォールクローレアンサンブル「ケナ」を経て、一九八四年にソロシンガーとなった太田真希さん、セントラル愛知交響楽団員を中心とした「歌心のある演奏」という意味をもつリート弦楽四重奏団のジョイントコンサートは、たくさんの方の組合員・家族のみならず心をつなぎ、明日へのファイトをプレゼントしたい。そんな思いで企画しました。

太田真希
百万本のバラ/鳥の歌/花祭りノコンドルは飛んで行くをはじめ、四季折々の歌メドレーや核兵器はいらないの思いを込めた風花、沖縄への連帯を謳う鳥の心ひとつに、など二十曲余。

リート弦楽四重奏団
シュトラウスのオペレッタ「こもりノヴィヴァルディの「春」をはじめ小品を含め十曲余。

整理券は、各単産・地域労連にあります。そらってお楽しみください。